

■地域のねらい

「日本の原風景」と呼ぶにふさわしい、四季折々の自然や農山村の景観、歴史的価値のある文化的景観などの地域資源を現在も多数とどめる国道29号沿線を舞台として、沿線の活動団体が県境を越えて一体となって地域に「にぎわい」を創出するとともに、地域の活性化を図ることを目的とする。

■活動エリアと地域資源

○活動エリア

兵庫県宍粟市(山崎IC)から鳥取市までを結ぶ国道29号(約90km)を中心に、若桜・八頭町内の国道482号を加えた沿線2市2町がエリアとなっている。古くから因幡街道(若桜街道)として因幡と播磨を結ぶ主要な交通路であった。

○地域資源

沿線には、田園・森林等の農山村の景観、氷ノ山・音水湖等の自然景観、若桜宿・不動院岩屋堂等の歴史的・文化的景観、隼ライダーの聖地・隼駅がある若桜鉄道等の資源の他、自然の恵みのジビエ・フルーツの食文化、バイクツーリングや温泉・森林セラピーのアウトドア等の魅力ある地域資源が多数存在している。

■地域の活動推進体制

○新因幡ラインパートナーシップ

・国道29号沿線広域協働活動実行委員会  
(民間全18団体)※事務局：八頭町観光協会内

■地域資源・活動内容



1129(イイニク)感謝祭チラン  
(沿線全線)



隼駅まつり(八頭町)



秋晴れのドライブ(宍粟市)

